

195.当院におけるベネトクラクス（ベネクレクタ®）+アザシチジン（ビダーザ®）療法の使用状況と適正使用への薬剤師の関わり

研究の概要

ベネトクラクス+アザシチジン療法は2021年3月に急性骨髄性白血病に対して適応追加となった療法です。ベネトクラクスは、主にCYP3Aという代謝酵素で代謝されます。CYP3A阻害薬と併用する場合、体内からベネトクラクスの排泄が遅れる可能性があり、副作用発現頻度が増加することが考えられます。そのため、用量調節基準が設けられており、ベネトクラクス投与時は、投与量について医療スタッフの相互確認が重要となります。今回、当院において、急性骨髄性白血病患者さんのベネトクラクス使用状況を明らかにすることにより、スタッフへの確実な情報提供の実施、また薬剤師業務の標準化につながり、ベネトクラクス+アザシチジン療法の安全で継続的な適正使用へ貢献できると考えます。

研究の目的と方法

本研究は、2021年4月～2023年3月までの期間に急性骨髄性白血病に対してベネトクラクス+アザシチジン療法を開始した患者さんを対象としています。診療で得られたデータ（性別、年齢、ALT、AST、総ビリルビン値、白血球数、好中球数、血小板数、芽球数、ヘモグロビン、治療開始時点での併用薬、ベネトクラクスの用量、薬剤師の介入状況）を電子カルテにて後方視的に調査を行い分析します。

本研究の参加について

本研究により患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に取り扱います。本研究にご質問のある方、ご自身のデータを使用しないでほしいと希望される方は末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査期間

研究対象期間：令和 3年 4月 1日～令和 5年 3月 31日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和 6年 3月 31日まで

研究成果の発表

研究成果は集団として分析し、学会や論文で発表します。またこの研究成果を発表する場合、患者さん個人が特定されることはありません。

研究代表者

国立病院機構 熊本医療センター 薬剤部 馬場 結子

当院における研究責任者

国立病院機構 熊本医療センター 薬剤部 馬場 結子

問い合わせ先

国立病院機構 熊本医療センター 薬剤部 馬場 結子
電話：096-353-6501（代表）